



## 新しいとねがわ幼稚園が始まります

園長 笛木 哲

ほほをなでる風が暖かく、優しくなり、全身で春を感じます。子どもたちを包み込む柔らかな青葉が太陽の光を浴びて透明に輝く中、127名の在園児が、大きな夢や希望をもち、やる気スイッチをONにして、笑顔いっぱいに進級します。38名(年少35名、年中2名、年長1名)の素敵な笑顔たちが期待に胸を膨らませて入園します。職員は2名が退職し、新たに3名が仲間入りし、元気ハツラツな笑顔が似合う25名が揃いました。165名の園児と職員が織りなす令和3年度のとねがわ幼稚園にご期待ください。コロナ禍にあっても、コロナを言い訳にしない、「どの子も輝き、笑顔いっぱい」の幼稚園にしていまいます。(令和2年度のちゅうりっぷ組は、入園式を経験するために入園式に参加します。)

大正から昭和にかけて活躍した作家 山本有三氏の作品『路傍の石』の中に、主人公の愛川吾一少年が無謀にも鉄橋の枕木にぶら下がり、汽車にひかれる寸前、救出される場面があります。翌日先生に「吾一というのはね、吾(われ)は一人なりという意味だ。世界に何億の人間がいるかもしれないが、愛川吾一という者は、この広い世界にたった一人しかいないんだ。たった一人しかいない自分を、たった一度しかない人生を、本当に輝かし出さなかったら、人間生まれてきたかいがないじゃないか。」と諭されます。

165名のお子さんは、親御さんにとっても、私たちにとっても世界にたった一人しかいないかけがえのない存在です。ご家庭との協力のもと、「春のような 優しい心」「夏のような 燃える心」「秋のような 澄んだ心」「冬のような 厳しい心」で共にお子さんを育ててまいりましょう。

本年度もコロナ対策として、園児も職員も検温と体調チェック、こまめな手洗い、放課後の全園消毒を毎日継続します。基本的に職員は全日マスクを着用しています。昨年度の一年間、担任の素顔を見た子がどれほどいたことでしょうか。笑顔も叱った顔も、目が見えるだけでは不十分で、口が見えて完成します。読み聞かせも話す時も、マスクを通して聞こえる声は、子どもの心に届く前にしぼんでしまいそうです。そんな、顔の半分がいつも隠れた状況での『マスク保育』が与える影響を心配した一年でした。でも、そんな大人の憂いを子どもは救ってくれました。おままごとをしている子は、「はい、どうぞ」と私のマスクの口元に美味しそうな『砂ケーキ』を運んでくれます。マスクをしていても、ちゃんと教職員を見分け、マスク越しの笑顔に微笑みを返してくれます。今年度は、マスクのない口で、山盛りの『砂カレー』を「もぐもぐ」したい！と心から思います。本年度もコロナ対策へのご理解とご協力をお願いします。

## 職員紹介

本年度もよろしくお願ひします。

✿退職 **平井 梨奈 東方 有記** 子どもたちのためにありがとうございました  
 ✿新採用 **本澤亜沙美 加藤真奈美 野澤夏々** 子ども達をよろしくお願ひします

理事	長	利根川秀之	補助	井上由美子
園長	長	笛木 哲		菅野 美和
事務	長	佐々木美代子		新井久美子
教務	長	菅野かほる		権田 陽子
満3歳	ちゅうりっぷ	永井 明子 (9月~)		加藤真奈美 (新採用)
年少	ばら	戸口 侑紀		野澤 夏々 (新採用)
	ひまわり	本澤亜沙美 (新採用)	こぐまサークル	永井明子(1学期) 菅野かほる(2学期~)
	もも	井出 絵美	ひよこ組	新井江里香
年中	ゆり	内野 裕美	預かり保育	太田真由美
	さくら	本澤加奈恵		岡野 繭美
	すみれ	宮崎 茜		曾根原英樹
年長	あやめ	渡辺 環	バス運転	駒林 茂
	きく	鹿山 詩織		馬場 弘行

## 令和3年度の『とねがわ幼稚園の教育』

- ・コロナウイルス対策については、基本事項を徹底します。詳しくは、別紙「新型コロナウイルスによる感染防止対策の更なる徹底について」をお読みください。コロナウイルスを幼稚園に「持ち込まない」「広げない」ためのご理解とご協力をお願いします。
- ・先年度行った保護者アンケートでは、「片付けができない」「お手伝いをしない」「外でのあいさつができない」「睡眠や健康などの基本的な生活習慣が身についていない」ことが課題として挙げられました。職員も「片付け」「園内での多様な人に対するあいさつ」を課題としてあげました。本年度は、「片付け」「お手伝い」「あいさつ」を重点に園児を育ててまいります。まずは「あいさつ」から始めます。「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」「ごめんなさい」はまずは大人がお手本を示すことが大切です。そして、できた時には笑顔を添えた花丸(評価)をお願いします。



## 園児が輝く時

※毎日、HPで「その日の写真」を掲載しています。よろしかったらご覧ください。



預かり保育の避難練習 3/25  
東日本大震災から10年。震災は預かり保育中の出来事でした。



子どもの手は神様の手 涙を流して登園した友達の頭にそっと添えた手から優しさが伝わります。



3/30 年長との最後の昼食はテラスにテーブルを並べ満開の桜を見ながら「お花見昼食」でした。